

# 森づくりの最前線

下越森林管理署 村上支署 関谷森林事務所 森林官 上村 和之



飯豊山杵差岳避難小屋



清流荒川と関川盆地

私の勤務している関谷森林事務所は、新潟県の北東部、山形県との県境に位置する関川村に有り、関川村約10,500畝、村上市約800畝の国有林を管理しています。

当事務所のある関川村は総面積約3万畝のうち約9割は森林で、その約7割を国有林（隣接森林事務所分を含む。）が占めています。

管内の国有林の中心となる飯豊山系（新潟県・関川村）は杵差岳（標高1,636畝）を主峰に、枯松山（標高1,119畝）、大境山（標高1,102畝）が連なり、磐梯朝日国立公園特別地域に指定され、村の中央を清流「荒川」が流れており、夏の行楽シーズンには登山や鮎釣りを楽しむ人でにぎわいます。

また、村の中心部には豪農の館で知られる国の重要文化財「渡辺邸」をはじめとした18世紀の町並みが残り、生活の中に歴史が溶け込んでいます。毎年夏に行われる「大したもん蛇まつり」は、昭和42年8月28日に発生した羽越水害と村に伝わる「大里峠」の大蛇伝説をテーマに村民の祭りとして行われていますが、そこで登場する長さ82.8畝、重さ2トンの大蛇は村民の手作りで、竹とワラで作った世界一長い蛇としてギネスブックに認定されるなど、近年では観光にも重点をおいた取組を行っています。

国有林内においては、中世の山城跡地で古くから「下関の城山」と呼ばれ、地域住民や子供達の遊び場所となっていた「城山」を整備・復活しようと、平成16年に設立された「下関城址顕彰会」や地元ボランティアの方々と森林の整備を通じて森とのふれあいを行っています。

当事務所管内の国有林は人工林率が低く、国有林と民有地との境界や林道の管理などを中心とした業務を行っていますが、最近では、熊による立木の剥皮被害が増えてきており、その防止対策として昨年からは獣害防止用テープ巻きを行っています。また、カシノナガキクイムシによるナラなどの天然林の被害が深刻で伐倒除去等その対策が急がれています。

私が森林官として業務を実行する上で最も大事にしている事は、地元の声には親切・丁寧・迅速に対応するという事と、現場で働く職員の高齢化が進んできているため、特に働きやすい環境づくりを心がけています。

私も、当事務所に赴任してから5年が経とうとしていますが、今年度予定されている事務所の新築を機会に、初心に戻ってこれからもがんばっていこうと思います。



渡辺邸と大したもん蛇まつり



熊対策のテープ巻き